

平成30年度 第1回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	平成30年度 第1回安曇野市図書館協議会
2	日 時	平成30年6月1日 午後1時30分から午後3時まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	三澤会長、田村副会長、中村委員、山田委員、樋口委員、銭坂委員、川名委員、望月委員
5	市側出席者	丸山図書館交流課長兼中央図書館長、青柳豊科図書館長、遠藤三郷図書館長、百瀬堀金図書館長、伊藤明科図書館長、沖係長、奈良澤副主幹、中山主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1 人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成30年6月20日

○会議の概要

- 1 開会 (丸山課長)
- 2 あいさつ (三澤会長)
- 3 協議・説明
 - (1) 平成29年度安曇野市図書館事業報告について
 - (2) 安曇野市図書館概要について
 - (3) その他
- 4 その他

3 協議・説明概要

- (1) 平成29年度安曇野市図書館事業報告について

各図書館長より説明

委員・三点質問があります。一点目は、今説明いただいた内容が、第二次図書館基本計画に記載されている、運営状況についての点検及び評価を行うというところに該当するものなのかということです。二点目は、購入された図書の貸し出しの状況です。あるものは繰り返し貸し出され、またあるものはほとんど貸し出しがないというような状況があるかと思しますので、その状況を知りたいです。三点目は、三郷図書館の自由研究・課題図書のテーマ展示の運用が非常に良かったというお話がありましたので、こういったことを他の図書館でも参考にするような水平展開があるのかということです。

事務局・一点目について、昨年制定された第二次基本計画に基づき、その事業の内容が、利用者にとっていいものになっているかという評価を、実際のこの事業報告の中で評価・分析をしていくということになっています。二点目について、どんな部類の本がどの程度借りられているのかという分析は、今は行っていない状況です。図書館を運営していく上で、利用者のニーズを知るポイントにもなるので、そういった観点からも調べていきたいと

思います。

事務局・三郷図書館の自由研究・課題図書の特集展示の関係ですが、この場での発表はなかったけれども、恐らく他の図書館でも行って、小学生の利用が沢山あったのではと思います。予想以上に本の貸し出しが増えて、子どもたちが自分で本を探したり、実験が載っている本がないかと職員に尋ねたりするなど、本当にニーズに合った企画だったと思います。

委員・蔵書の活用状況については精査されていくということで、よろしくお願いします。貸し出しがないからこれはいらないということではなく、図書館の方向性に合わせて整理されていくようお願いします。

事務局・豊科図書館では3月に、あまり借りてもらえない残念な本たちという特集を児童の方で組みました。一般書は専門書などもあるので難しいですが、あまり動かない本に目を止めてもらえる努力をしていきたいです。

委員・校長会で図書館教育を担当しております。市内の全小中学校の司書さんから、市内幼保小中学校との連携、市内小中学校調べ学習図書の整備という事業について、感じていることを聞いてきました。基本的に皆さんは大変ありがたいと感じています。急なお願いにも対応していただければ、配本もしていただけることや、自校にほとんどない郷土資料を貸してもらえ、テーマでお願いすると選書してもらえ、などがありがたいという声がありました。また、要望としては、貸し出し期間を2カ月にしてほしい、少しずつでも複本を用意してほしい、たまに学校に来て、いろいろアドバイスをしてもらえたらというものがありました。あとは、莫大な予算がかかることですが、いつかシステムが統一されたらありがたいと思います。諏訪や茅野、上田は学校と公共の本の行き来が実現していました。

委員・市の文化振興計画に沿って、講演会や読書通帳など様々な事業を実践してきたことに感謝したいと思います。そんな中で、図書の貸し出し数が横ばいという状況ですが、図書館の実感としては、もっと伸びる、伸びてほしいというところなのか。そうであるなら、どこに課題があるのか。その点について、お聞きしたいです。

事務局・一人当たりの貸し出し冊数については、まだ多くの皆さんに借りていただく余地はあると思っています。特に、中高生、二十代前半といった若い世代の貸し出しが少ない状況です。その世代の方々に向けての選書や講座の実施などが、来館してもらうきっかけとなると思います。一人当たりの貸し出し数は、去年は8.0冊で、県内19市の中では二番目ですが、1位の塩尻市は9.7冊なので、かなり開きがあります。

委員・事業報告について、事業がみんな図書館のなかで完結してしまっているのがもったいないと感じました。図書館に来る人に対してはいろいろな事業をしていますが、今まで図書館に来ていない方に対して、来てほしいという感じの事業があまりないという印象を受けました。例えば、市でやっている環境フェアに、関連する資料や読書通帳、カードケースなどを展示して、今後環境のことを調べるときには図書館に来てねというPRを行うなど、今まで図書館に来ていない方を取り込むことが、貸し出し冊数を伸ばすことにつながると思います。

委員・ヤング世代が図書館だけに興味を持つということが少ないということなら、興味があることと掛け合わせる

のはどうでしょう。今、小中学生が、自分のおすすめの筆箱の中身などを紹介する動画を出していて、それが何万回も見られています。おすすめの本を紹介する動画でしたらスマホ1台で出来ますし、そういったワークショップも面白いと思います。

議長・今までいろいろご意見が出ましたように、これからはソフト面の充実が大事だと思いますのでお願いします。他によろしいようでしたら、安曇野市図書館概要について説明をお願いいたします。

(2) 安曇野市図書館概要について

事務局より説明

委員・男女別利用者数の割合で、60歳以上の男性が多くて女性が少ないのはなぜか、理由を分析されていますか。

事務局・男性の60歳以上のウエイトが大きいのですが、人数としては、男女とも3万3000人程度で、同じくらいの方が登録してくださっています。

委員・公民館の利用者は、女性がとても多いので、そのことと関連があるのではと思いました。また、レファレンスサービスのことをもっとPRした方が良いと思います。市の職員も知らない様子でした。せっかくいいサービスなので、もっと活用していただければと思います。

4 その他

議長・ありがとうございました。この委員の皆様におかれましては、平成28年7月1日から二年間ということで、今月末に任期が切れることとなります。皆様には、三郷図書館の開館ということでいろいろご審議いただきありがとうございました。これで安曇野市としても、ハード面はそろったと思いますので、あとはソフト面を充実し、いかに市民の皆様にご利用していただける図書館にするかということです。図書館が本だけではなく、いろいろな講座など、市民の皆様が集って利用していただける場所になればと期待しています。

それではこれで第一回図書館協議会を閉じさせていただきます。

以上